

美楽舎

B i G a K u S Y a
News letter

No. 370

会報 第 370 号 (令和 4 年 8 月発行)

HP: <http://bigakusya.com>
Mail: info@bigakusya.com

第 394 回 (7 月) 例会

自習

投稿はありませんでした。

某日月誌

ぼうじつげっし



○7月某日:「動物の饗宴」五島美へぐるっパで無料で。前回行ってから7、8年経ったからか道を覚えてなかった、そうだ高級住宅地にあり五島家の並びだった。珍しくロッカーにバッグを入れてから見て、庭園も20分かけて石塔や石仏を撮りながら一回りした。しまった携帯はバッグ内でロッカーに置いてあり、歩数計止まっており、あんなに歩いたのに損した気分。今回沢山撮った写真を見たら、紫色緑色黄色の光線が掛かっており、目には見えなかった霊的光をカメラが捉えたのだろうか。

○8月某日:「東北へのまなざし」(7月23日~9月25日)東京SGへ、郷土人形、こけし、好きな板祐生などもあり図録(2400円)を買った。タウトと柳が見た東北がテーマで、タウトの訪問の案内者は勝平得之(木版画家、シリーズ木版本は山田書店などで安く売っている)であった。柳は民藝と棟方である。今和次郎、純三の考現学も出て来た。

○某日:「ルートヴィヒ美術館展」(6月29日~9月26

日)新美へ、グッ場に展示作品(A・ウォールホルのブリロ・ボックス、木にシルクスクリーン)を模した陶磁器があり(35200円、残り2個だけ)、買い、F3キャンバス(3300円、マチス)も買った。

○某日:「蜷川実花」庭園美へぐるっパで無料で。とにかく暑い道のりで、入ってすぐに奥の新館の喫茶室で冷たいのを飲んだ。まだ見てないのにPCと缶バッチを買ってから映像スクリーンを見て、観客も入れて撮る。それから本館入口に戻り、半分くらいが撮影OKなので花の写真作品を撮った。各部屋の窓カーテンが今回は開いており違う景色に、庭園には入らなかったなので外側からの写真は無い。

○某日:「田中保とその時代」(7月16日~10月2日)埼玉へぐるっパで無料で。図録(1300円)を買った。田中は岩槻に生まれ、18歳で移民としてシアトルに渡り、1920年にパリへ移住し、54歳で亡くなった。裸婦画家として有名である、今回は裸婦画作品のほかに資料として作